

健生食輸発0107第1号  
令和8年1月7日

各検疫所長 殿

健康・生活衛生局食品監視安全課  
輸入食品安全対策室長  
(公印省略)

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について  
(スリランカ産カカオ豆、台湾産落花生、タンザニア産ごまの種子、中国産ひまわりの種子、トルコ産ヘーゼルナッツ及びマリ産ごまの種子のアフラトキシン)

標記については、令和7年3月28日付け健生食輸発 0328 第1号（最終改正：令和7年12月25日付け健生食輸発 1225 第1号）により通知したところである。

今般、スリランカ産カカオ豆及びその加工品、台湾産落花生及びその加工品、タンザニア産ごまの種子、中国産ひまわりの種子及びその加工品、トルコ産ヘーゼルナッツ並びにマリ産ごまの種子のアフラトキシンについて、食品衛生法第23条に基づく輸入食品監視指導計画の検査命令の解除要件を満たすことから、同通知の別添1を下記のとおり改正するので、御了知の上、関係事業者等への周知方よろしく願います。

記

1. 別添1のスリランカの項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
カカオ豆及びその加工品 (カカオ豆のみを原料とするものに限る。)	－	総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発 0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10μg/kgを超えて付着又は含有しているおそれがあるため。

を削除し、

2. 別添1の台湾の項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
落花生及びその加工品 (落花生を10%以上含有するものに限る。)	—	総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 $\mu$ g/kgを超えて付着又は含有しているおそれがあるため。

を削除し、

3. 別添1のタンザニアの項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
ごまの種子	—	総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 $\mu$ g/kgを超えて付着しているおそれがあるため。

を削除し、

4. 別添1の中国の項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
ひまわりの種子及びその加工品 (ひまわりの種子を30%以上含有するものに限る。)	—	総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 $\mu$ g/kgを超えて付着又は含有しているおそれがあるため。

を削除し、

5. 別添1のトルコの項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
ヘーゼルナッツ	—	総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 $\mu$ g/kgを超えて付着しているおそれがあるため。

を削除し、

6. 別添1の項中、

対象国・地域	製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
マリ	ごまの種子	—	総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 $\mu$ g/kgを超えて付着しているおそれがあるため。

を削除する。